



2026年5月15日

各 位

会社名： フクビ化学工業株式会社  
代表者名： 代表取締役社長 森 克則  
(コード番号：7871 東証スタンダード・名証メイン)  
問合せ先： 広報・IR 推進部長 大久保 宣寿  
(TEL：0776-38-8415)

### 第7次中期経営計画の進捗状況に関するお知らせ

当社グループでは、2023年度から5ヵ年の第7次中期経営計画「技術を押出し、未来へワクワク」がスタートしております。このたび2025年度の進捗状況がまとまりましたので、お知らせいたします。  
詳細については、別紙をご参照ください。

以上

## 第7次中期経営計画 2025年度進捗に関するお知らせ

当社グループでは2023年度から5か年の第7次中期経営計画『技術を押出し、未来へ ワクワク』がスタートしております。このたび2025年度の進捗状況がまとまりましたので、お知らせいたします。

### 1. 第7次中期経営計画について

中長期ビジョンのあるべき姿「新たな技術開発と市場創造に絶え間なく挑戦し、快適な社会の実現に貢献する」「一人一人の成長と企業の成長が一体となることで、喜びを実感できるフクビグループを目指す」に対し、現状とのギャップを埋めるための戦略と位置付け企業理念に立脚した事業活動を具現化することによって、企業としての存在価値を高めるとともに、VUCAの時代において安定的な経営を目指すため、3つの基本戦略を掲げています。

#### ① 循環型ビジネス拡大

- ・プラスチックリサイクルへ事業領域を拡大し、循環型社会に貢献する。
- ・環境配慮型商品のブランド展開とフクビの5R(Reduce、Reuse、Recycle、Renewable、Revalue)実践によりグループの存在感を高める。

#### ② 強靱な収益基盤構築

- ・当社の強みである、材料配合・成形加工技術に関するバリューポジションを更に拡大する。
- ・社会のニーズに沿った商品開発や採算性を意識した事業PFの再構築、生産性向上によるさらなる原価低減を通じて付加価値をさらに高める。

#### ③ 成長を後押しする組織づくり

- ・人的資本への積極的取り組みにより、従業員エンゲージメントを高め、従業員の力を最大限発揮できる清新な組織への改革を加速させる。
- ・戦略を確実に実行するためのガバナンス体制を強化する。  
当社グループは、上記諸施策を推進することで100年企業へ向けた強固な基盤づくりを行い、さらには、地域の皆様や社会に貢献する経営を継続することで、常にステークホルダーに信頼され、選ばれ続ける企業を目指します。

### 2. 数値目標の進捗

中期経営計画の3年目は、売上40,594百万円、営業利益は1,733百万円と前期比で増収増益。

	(単位：百万円)	2024年度実績	2025年度実績	2027年度計画	長期目標 (2030年展望)
収益性	売上高	39,973	40,594	45,000	50,000
	営業利益	1,550	1,733	2,800	3,500
	経常利益	1,882	2,148	3,120	-
	当期純利益	1,466	1,680	2,160	-
資本効率	ROIC (投下資本利益率)	3.8%	3.4%	5.9%	-
	ROE (自己資本利益率)	4.0%	4.4%	6.0%	-
財務健全性	D/Eレシオ	0.030	0.027	0.4倍以下	-
	自己資本比率	68.7%	72.6%	65%	-

### 3. 基本戦略の取り組み状況

#### 3つの基本戦略を念頭に置いた活動を展開

	基本戦略	成果
①循環型 ビジネス拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックリサイクルへ事業領域を拡大し、循環型社会に貢献する環境配慮型商品のブランド展開とフクビの5R※実践によりグループの存在感を高める ※Reduce、Reuse、Recycle、Renewable、Revalue</li> </ul>	<p>循環型社会への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 再生木材「プラスッド」伸張。</li> <li>✓ パブリックスペース向けデザイン家具『NEURAUM（ノイラウム）』、ソーラーLED屋外照明灯『ルメナイト』『ラヨビア』、コントラクト家具『Lignimo（リグニモ）』などの新製品を発売</li> <li>✓ まちと人をつなぐ事業ブランド「Fukuvi commons（フクビコモンズ）」の立ち上げ</li> <li>✓ 『プラスッド デッキND KKAA』が「2025年度グッドデザイン賞」を受賞</li> <li>✓ 再生木材のラインナップに、新たに奈良県産材を使用した『PLUSWOOD-NR』を追加</li> <li>✓ 「みやぎの木づかい運動」と連携した宮城県産材混合シリーズ品の開発</li> <li>✓ フッ素化合物（PFAS）を一切使用しない『光ガイディングバーPFASフリータイプ』の開発</li> <li>✓ 熱可塑性炭素繊維複合材（CFRTP）の一貫製造プロセス 2025年度「NEDO省エネルギー技術開発賞」の理事長賞を受賞</li> <li>✓ 次世代型学校整備モデルの構築を目指す「廃校を活用した断熱改修実証プロジェクト」を開始</li> </ul>
②強靱な 収益基盤構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社の強みである、材料配合・成形加工技術に関するリーダーポジションをさらに拡大する社会のニーズに沿った商品開発や採算性を意識した事業PFの再構築、生産性向上によるさらなる原価低減を通じて付加価値を更に高める</li> </ul>	<p>事業ポートフォリオの再構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ フクビ岡山株式会社が経済産業省の「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」の採択を受け、第2工場の建設を決定</li> <li>✓ 工場・倉庫向け商品『PLANTOOL』の拡販が非住宅分野の収益に貢献</li> <li>✓ 自動車内装イルミネーション部材『光ガイディングバー』の販売が伸張</li> <li>✓ リフォジュール株式会社を完全子会社化し、グループ内に分散していた工事業を同社に統合・集約。2026年4月1日より「フクビ・リフォジュールアーキテクツ株式会社」として始動</li> <li>✓ 原価低減や価格改定への継続的な取り組み</li> </ul>
③成長を後押し する組織づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>人的資本への積極的取り組みにより、従業員エンゲージメントを高め、社員の力が最大限発揮できる清新な組織への改革を加速させる</li> <li>戦略を確実に実行するためのガバナンス体制を強化する</li> </ul>	<p>人的資本経営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 育児休業取得者の業務をフォローする従業員に特別手当を支給する「育児休業取得支援制度」を2025年12月より導入</li> <li>✓ 男性の育児休業取得率75%（2024年度31%）</li> <li>✓ 「AI学習プログラム」の導入による全社的なデジタルリテラシーの底上げを図る</li> <li>✓ AI「利用ガイドライン」の制定や勉強会をスタート</li> <li>✓ AIを活用した新たな価値創造を目指す「AIチャレンジプロジェクト」を開始</li> <li>✓ 「健康経営優良法人」の取り組みを継続</li> </ul>



2023-2027年度

# 第7次中期経営計画 2025年度進捗報告

## 技術を<sup>おしだ</sup>押し出し、未来へ **ワクワク**

これまで培った樹脂加工技術を軸に事業領域を広げ、  
サステナブルな社会を創造します。

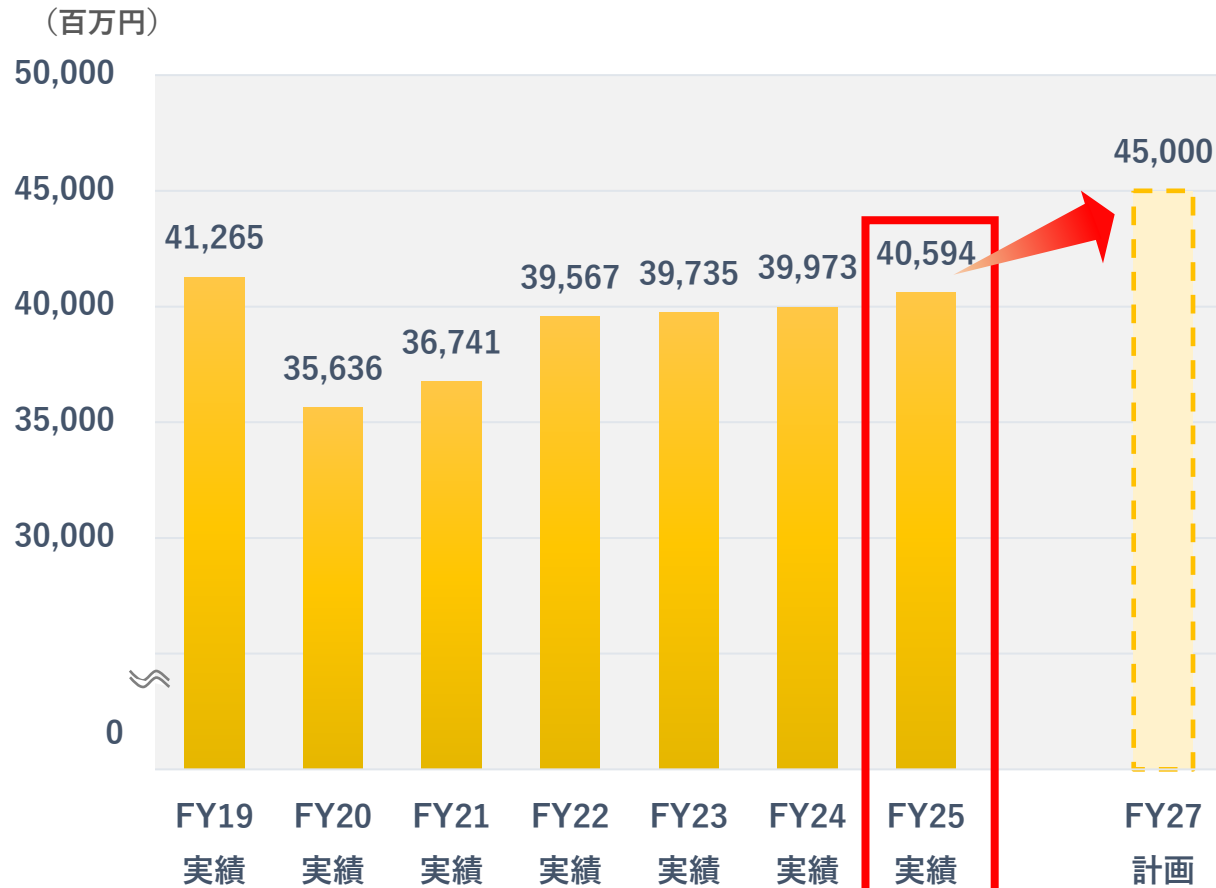
フクビ化学工業株式会社

2026年5月

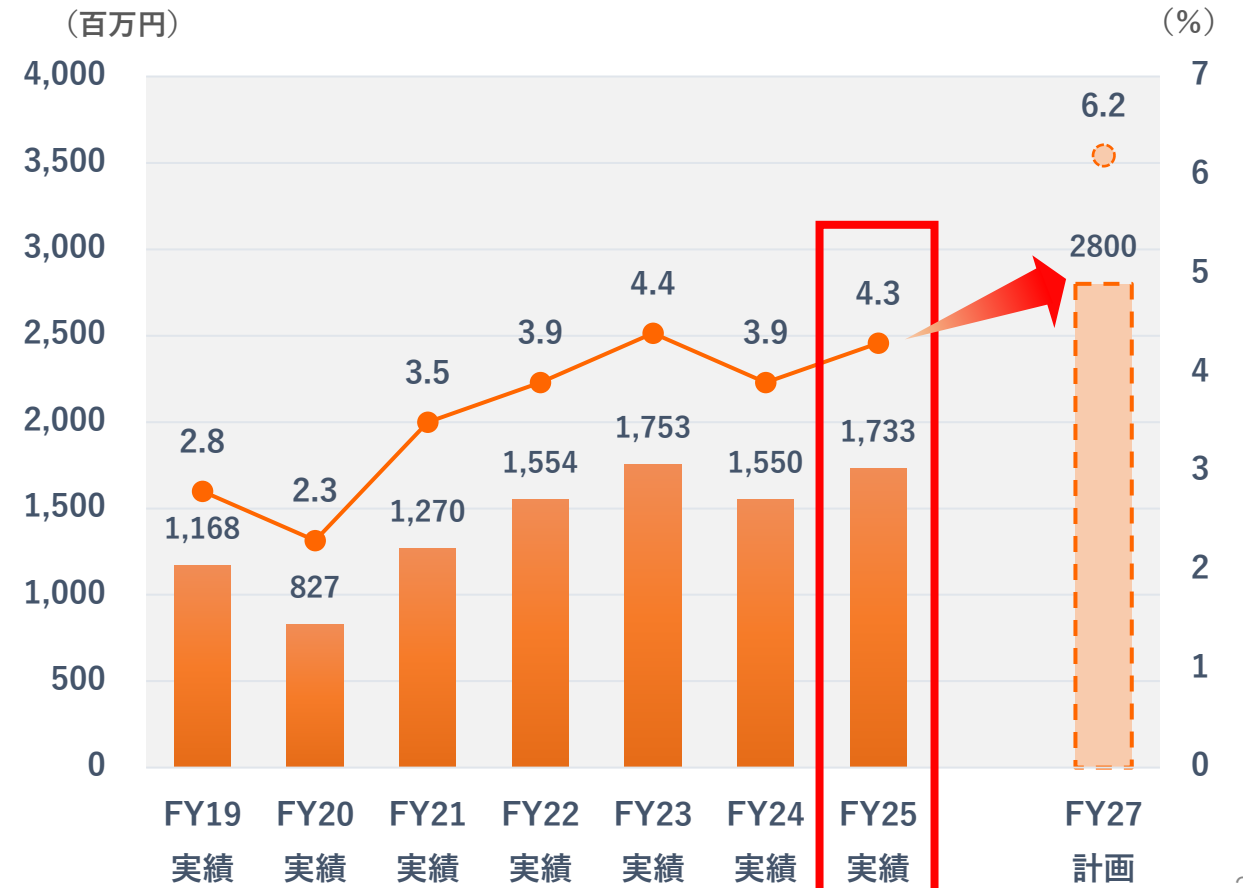
# 売上高・営業利益の推移（連結）

FY25は成長率が想定に届かず計画未達も、前年比では増収・増益を確保。反省を踏まえ、課題改善を着実に実行して成長加速の成果へつなげる。

## 売上高の推移



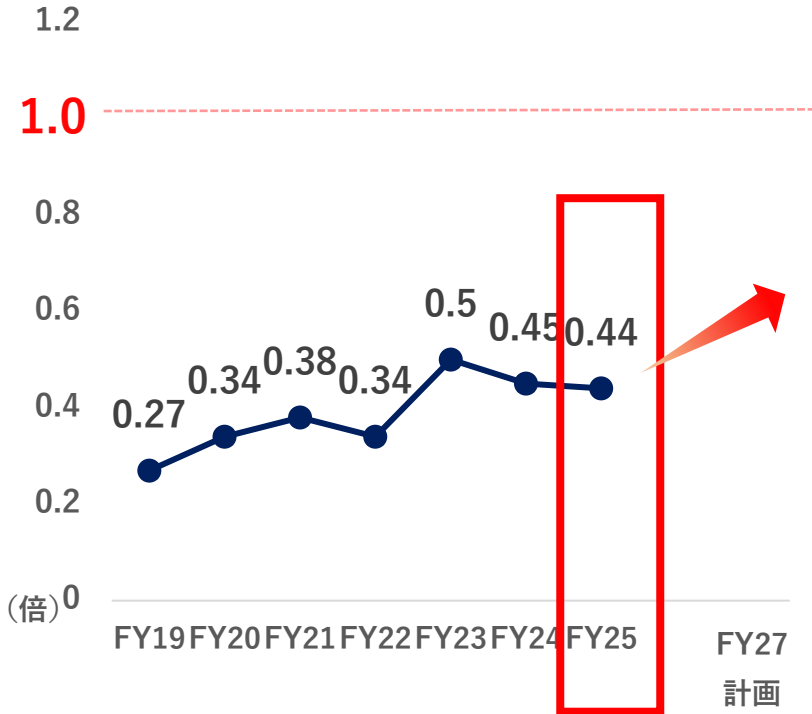
## 営業利益・営業利益率の推移



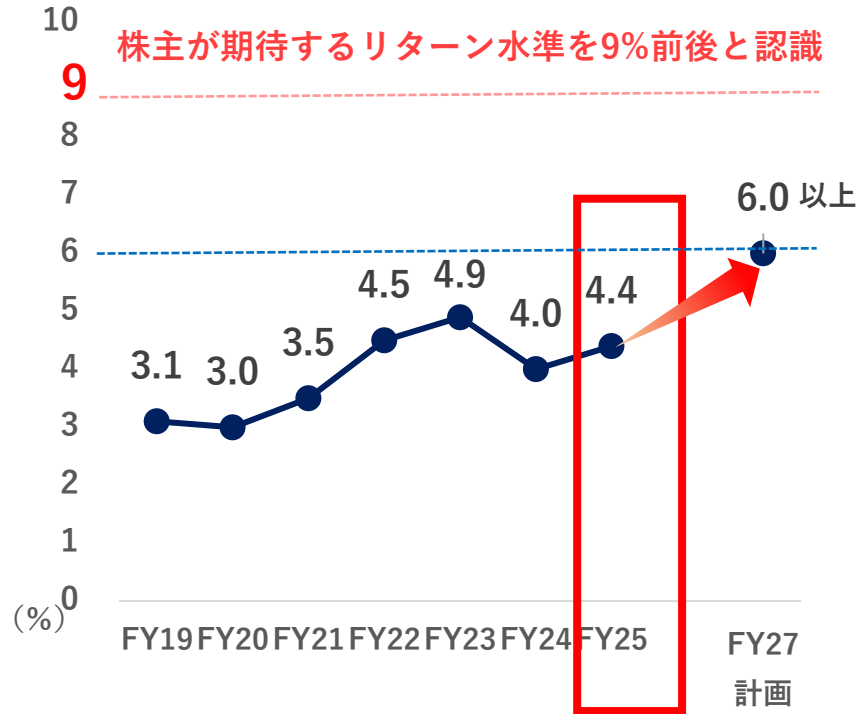
# PBR・ROEの推移（連結）

価格転嫁の進展や利益率の高い成長分野の拡大により、収益性が高まりROEは0.4P改善。本中計目標（ROE6.0%）の達成に向けて、資本効率の向上に取り組む。

## PBR（倍）の推移



## ROE（%）の推移



## 資本コストの考え方

### CAPM（資本資産価格モデル）

リスクフリーレート	$\beta$	市場リスクプレミアム	株主資本コスト
(0.75)	(0.59)	(6.06)	(4.3)

□ CAPMで算出した基礎数値4.3%に事業要因、財務要因、市場要因の修正を加味すると**9%前後と認識**。

□ 修正CAPMの資本コストを市場期待のコストとして捉えた上で、エクイティ・スプレッド改善に向けた方針と各方針に基づく選択肢を明確にして取り組む。

成長構想の中で事業ポートフォリオを「当期純利益率の向上」と「財務レバレッジの活用」を重点施策として、改善を図る。

## 2 経営指標の推移（連結）

体質強化と財務健全化の施策を着実に推進した結果、ROEはFY24比で0.4P改善。ROICは0.4P低下。中長期的な資本効率向上に向けた取り組みを継続していく。

(単位：百万円、%)

		FY19実績	FY20実績	FY21実績	FY22実績	FY23実績	FY24実績	FY25実績	FY27計画
収益性	売上高	41,265	35,636	36,741	39,567	39,735	39,973	40,594	45,000
	営業利益	1,168	827	1,270	1,554	1,764	1,550	1,733	2,800
	売上高営業利益率	2.8%	2.3%	3.5%	3.9%	4.4%	3.9%	4.3%	6.2%
	EBITDA	2,576	2,218	2,561	2,843	3,006	2,894	3,135	-
	売上高EBITDA率	6.2%	6.2%	7.0%	7.2%	7.6%	7.2%	7.7%	-
	親会社株主に帰属する当期純利益	946	915	1,136	1,482	1,704	1,466	1,680	2,160
	EPS	46.1	45.0	55.7	73	85.6	73.8	85.0	-
資本効率	投下資本利益率（ROIC）	3.4%	2.3%	3.5%	3.7%	3.3%	3.8%	3.4%	5.9%
	自己資本利益率（ROE）	3.1%	3.0%	3.5%	4.5%	4.9%	4.0%	4.4%	6.0%
財務健全性	D/Eレシオ	0.034	0.030	0.028	0.028	0.034	0.030	0.027	0.4倍以下
	自己資本比率	63.9%	66.7%	66.0%	66.0%	67.2%	68.7%	72.6%	65.0%

3

# 重点事業領域拡大に向けた主な取組み

飛躍に向けた基盤整備が順調に完了し、成果創出フェーズに移行。スピード向上を課題と認識しつつ、迅速な実行で着実な成果につなげる。

重点事業領域・重点製品候補			展開ブランド等	評価 (3ヶ年)	FY25の主な取組み
新たな住まい	環境配慮型建材	断熱事業	リフォーム		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ Fukuvalueの拡大：新たな環境配慮型商品の認定（浴室用押出部材）</li> <li>➢ フクビ岡山株式会社が経済産業省の「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大規模成長投資補助金」の採択を受け、第2工場の建設を決定</li> </ul>
			省施工・高耐久		
オフィス&ファクトリー			ZEB化事業 (※1)	 	
インフラ	インフラ専用 補修/改修材	炭素繊維強化プラスチック		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 炭素繊維強化プラスチック：一貫製造プロセス 2025年度「NEDO省エネルギー技術開発賞」の理事長賞を受賞</li> <li>➢ まちづくり事業：まちと人をつなぐ事業ブランド「Fukuvi commons（フクビコモンズ）」の立ち上げ</li> </ul>	
	まちづくり事業				
モビリティ	コーティングAG・AR (※2)	HARZLAS	光ガイディングバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 車載向け新規車種納入開始。</li> <li>➢ 光ガイディングバー：フッ素化合物（PFAS）を一切使用しない『光ガイディングバーPFASフリータイプ』の開発</li> </ul>	
	ライトガイド（導光棒）				
	自動車向け部材				

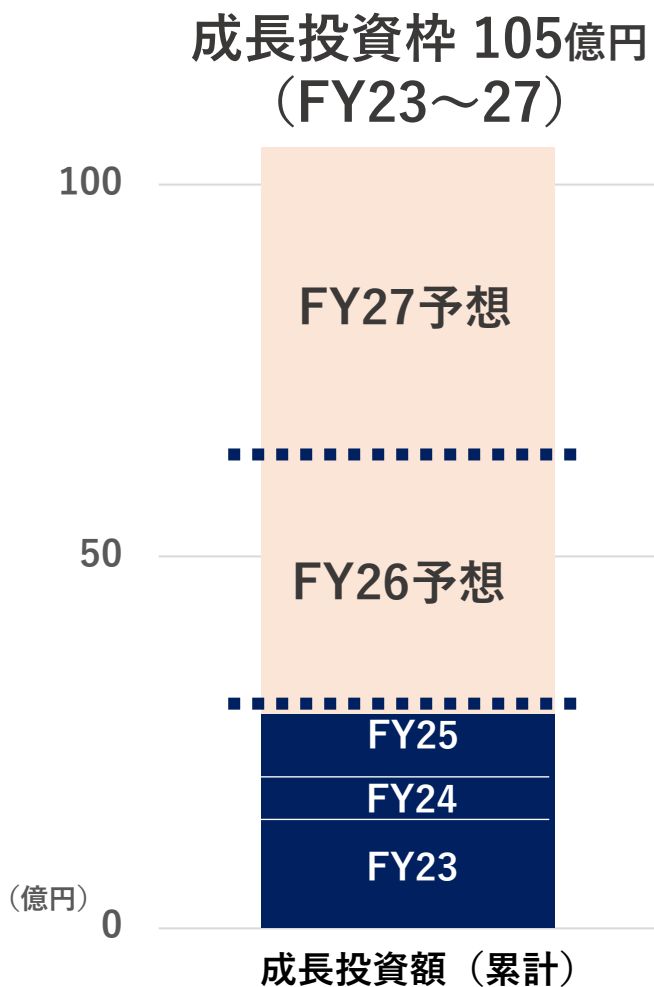
(※1) ZEB：Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。

(※2) AG：Anti-Glare（アンチグレア）の略。散乱反射。

AR：Anti-Reflection（アンチリフレクション）の略。低反射。

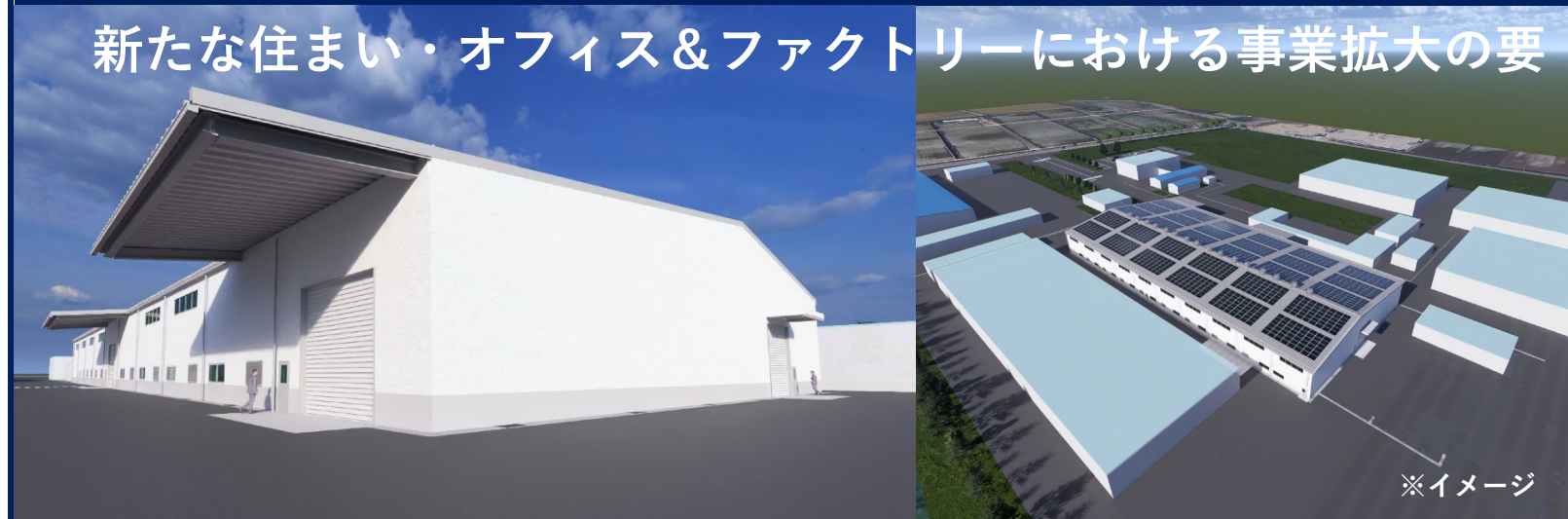
# 成長投資の実行状況

省エネ基準適合義務化を背景に、独自の不燃性・平滑性を備えたフェノバボードの製造能力を拡大する。第1期工事は2027年度稼働・竣工完了を目指す。



新工場への投資 (FY26~) ・ 計画する財務的リターン

新たな住まい・オフィス&ファクトリーにおける事業拡大の要



『フェノバボード』第2生産拠点 (フクビ岡山)

経産省「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化等の大型成長投資補助金」に採択

フクビ化学グループの成長投資

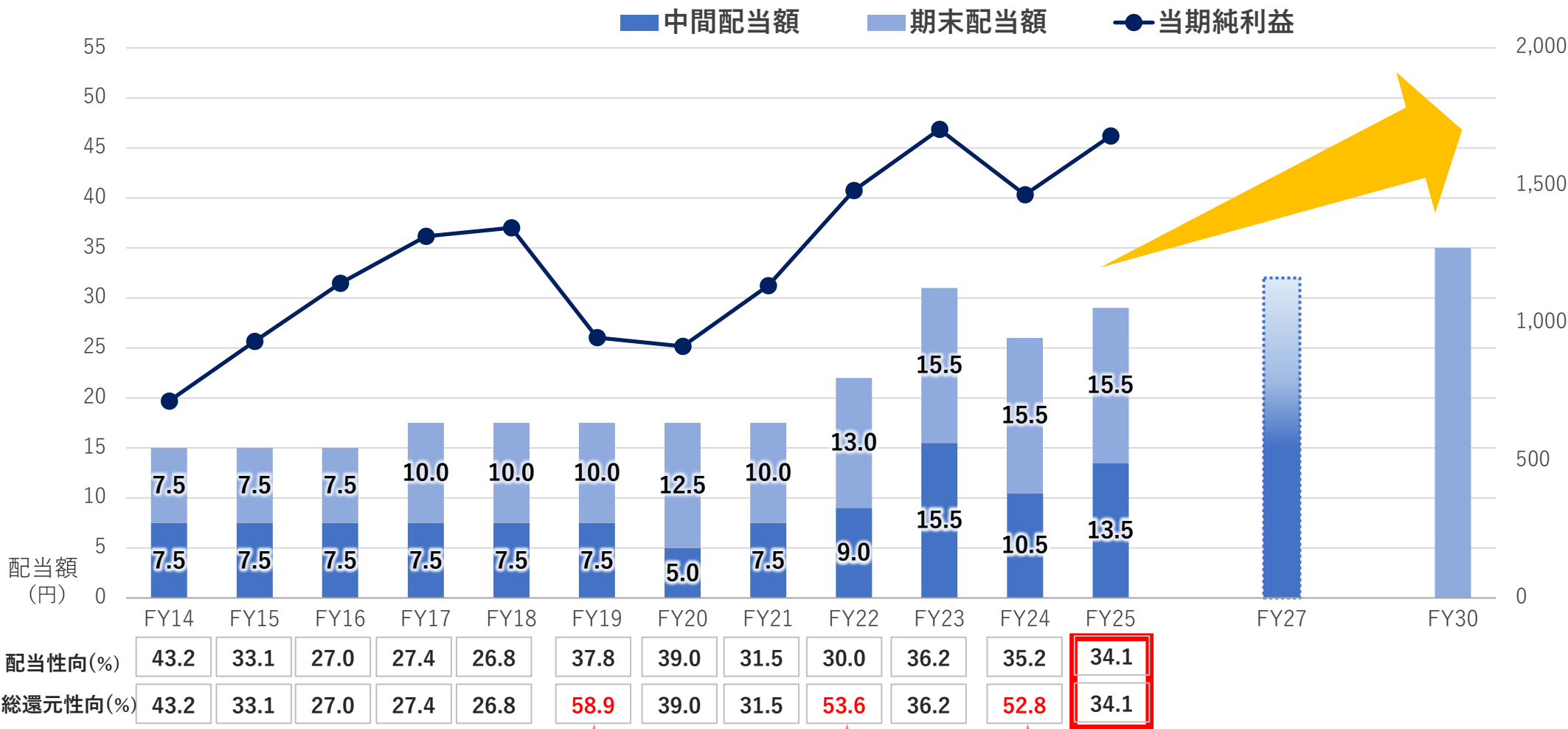
・ 成長投資枠：FY25 15.8億円

フクビ岡山 (フェノバボード製造)

売上高成長目標：230.8% (FY24比)

# 株主還元方針

通期29.0円の配当を実施し、配当性向30%以上の安定的な株主還元を推進。  
 累進配当や機動的な自己株取得により総還元性向を高め、株主還元の充実を図る。



自己株199百万円  
(35万株) 取得

自己株351百万円  
(62.7万株) 取得

自己株258百万円  
(35万株) 取得

**配当基本方針**  
FY24/3月期決算短信

当社は安定的な配当を継続することを基本とし、将来に向けた成長投資に利益を配分しつつ、配当性向30%以上を目安に、累進配当※の導入と機動的な自己株式取得による総還元性向の向上により、株主還元の充実を図ります。

なお、内部留保につきましても、重点事業領域への成長投資および事業基盤の強化のための投資資金に充当してまいります。

※累進配当：配当額の維持若しくは増配を原則とする配当政策

# 経営基盤強化への取り組み

## 主要取組内容（2025年度）

### サステナビリティ

- Scope 3：2025年度より国内子会社含めた適時開示。
- CDP評価を受けC評価。課題を把握しTCFD開示準備を進める。
- 産廃とCO2目標の改定（産廃は国内グループへ範囲拡大、CO2 2013年度比38%削減）

### 生産性を上げる DX

- 「AI学習プログラム」の導入による全社的なデジタルリテラシーの向上。
- AIを活用した新たな価値創造を目指す「AIチャレンジプロジェクト」を開始。

### 人的資本経営

- 従業員に特別手当を支給する「育児休業取得支援制度」を2025年12月より導入。
- 男性の育児休業取得率75%（2024年3月期 取得率31%）
- 「健康経営優良法人」の取り組みを継続。

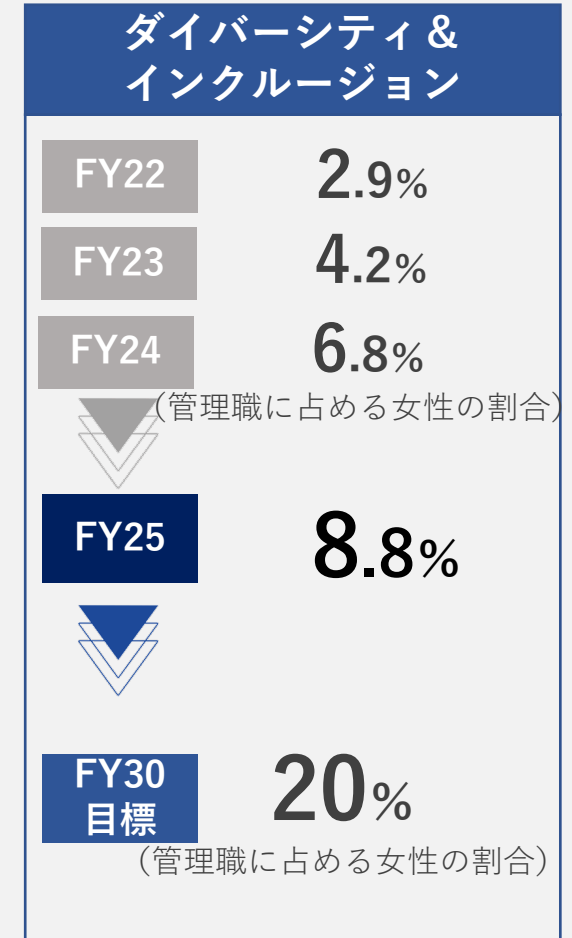
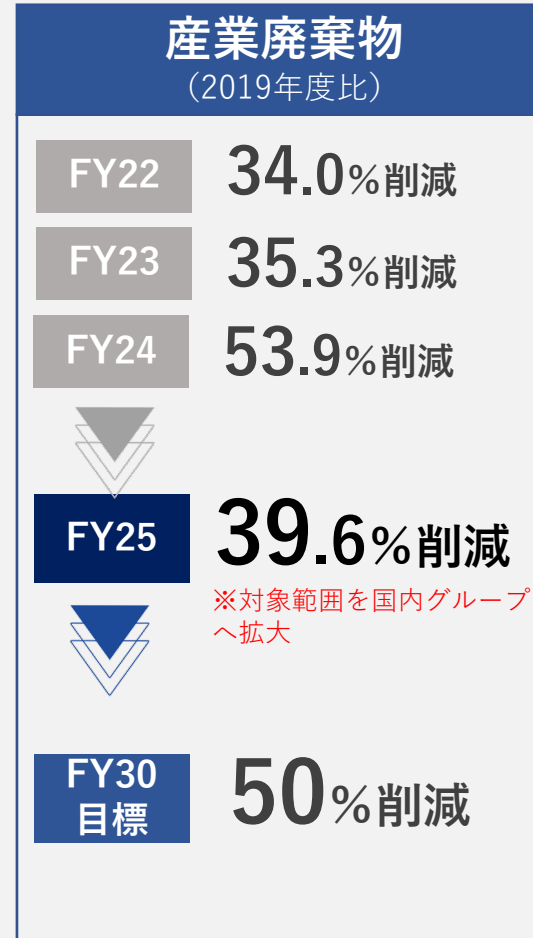
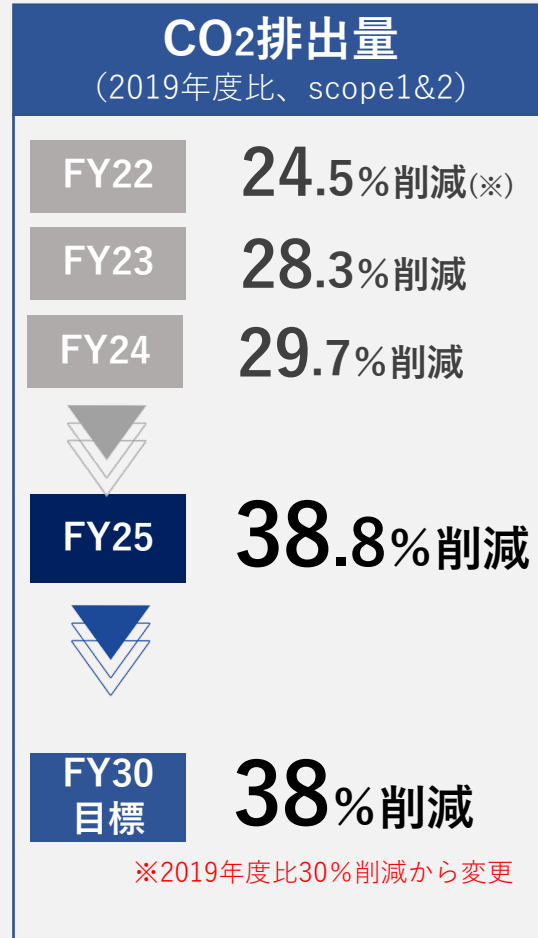
### 事業ポートフォリオ

- グループ内に分散していた工事事業をリフォジュール株式会社に統合。
- 集約し2026年4月1日より「フクビ・リフォジュールアーキテクツ株式会社」として始動。
- M&A出資検討会を継続し、案件社内承認ルートの構築。

# 非財務KPI

CO2排出量、産業廃棄物は達成見込みのため、見直しを行い、新たな目標を設定。  
ダイバーシティ&インクルージョンは増勢で推移するものの継続課題。

## 非財務KPI



(※) 集計項目の一部見直しにより26%から24.5%に修正。今回よりCO2排出量削減量、産業廃棄物削減量についても小数点表記。

# 技術をおしだし、未来へワクワク

## 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご了承ください。